

情報セキュリティ

当社グループでは、安全に安心して利用できるサービスをお客さまに提供し続けるため、以下の方針と体制のもと、グループを挙げて情報セキュリティに取り組んでいます。

情報セキュリティに関する基本的な考え方

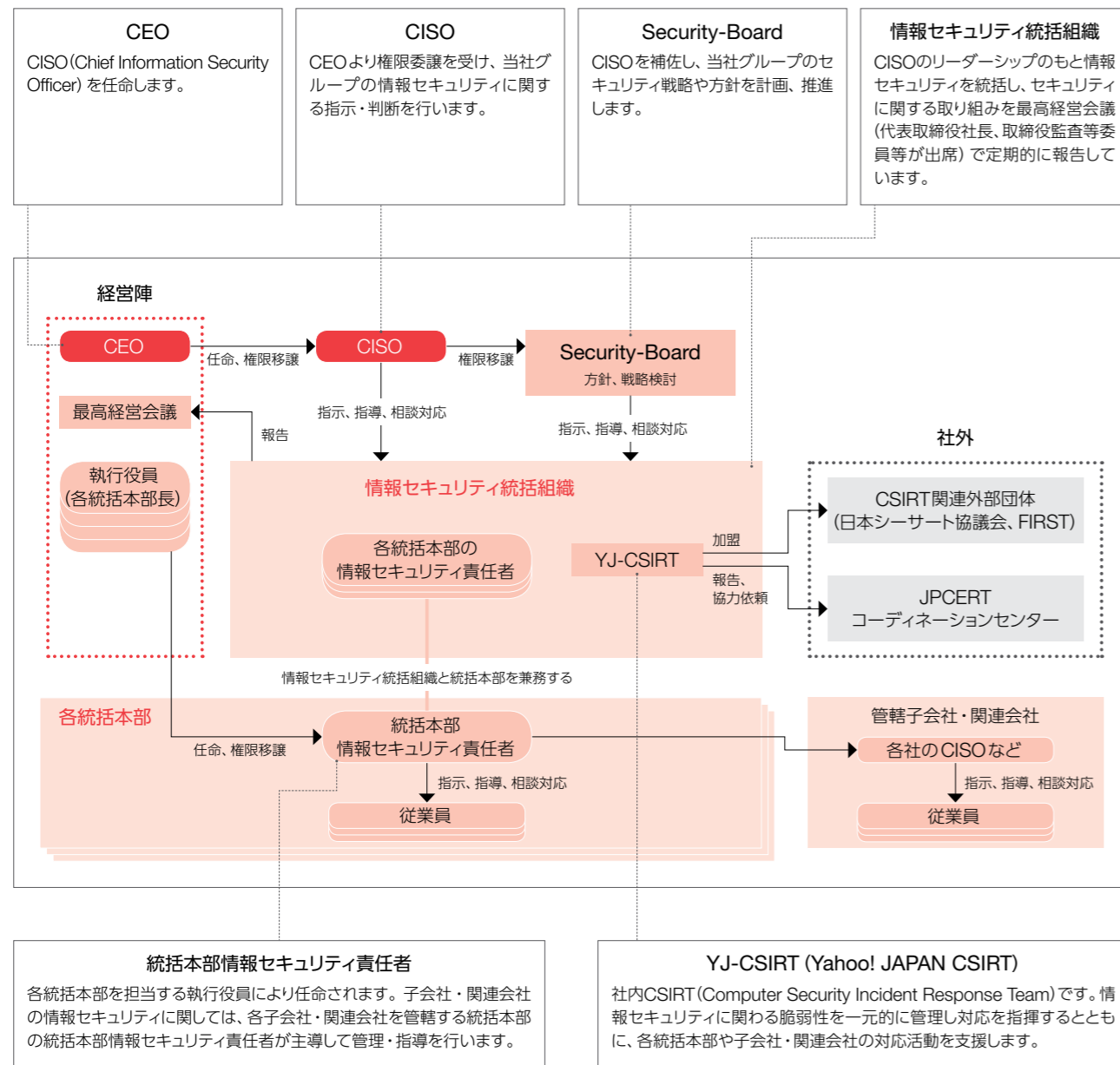
CEOのイニシアティブのもと、当社グループ全体でERMを推進し、最優先事項として、「まず人命。そして情報セキュリティ(もれる・きえる・とまる)」を宣言し、戦略に組み込んでいます。

人命尊重に次いで優先すべき情報セキュリティについて

は、お客さまの情報を漏洩から守ること(機密性)、24時間365日いつでもお客さまにサービスを提供し続けること(可用性)、コンテンツを破壊や改ざんから確実に守ること(完全性)の方針としています。

情報セキュリティ体制

中長期的な視点に基づき、組織横断型の情報セキュリティ体制を敷いています。

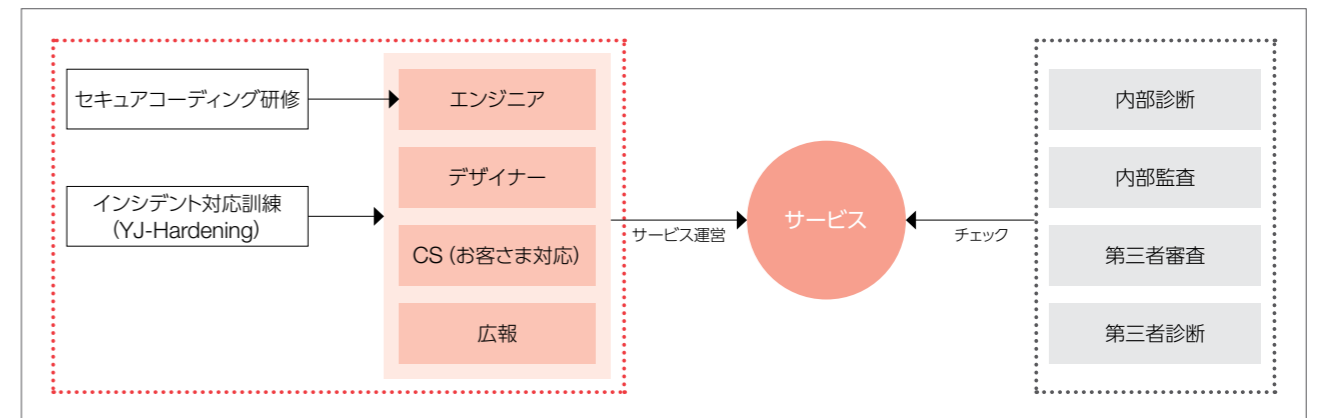


セキュリティを担保するための取り組み

安全なサービスを提供するための取り組み

堅牢なサービスを提供するための取り組みの一環として、社内専任組織と第三者機関による脆弱性診断の実施等、アプリケーションへの脆弱性対応を実施しています。アプリケーションに脆弱性を持たせないことを目的に、エンジニア

を対象とするセキュアコーディング研修を実施しています。トラブル発生時の対応力を養うことを目的に、サイバー攻撃を想定したインシデント対応訓練(YJ-Hardening)を実施しています。



セキュリティに関する新たな脅威に対応するため、常に外部の最新情報を入手し連携すべく、以下の団体に加盟し、継続的な技術動向の把握に取り組んでいます。

社外との情報共有体制

日本シーサート協議会 http://www.nca.gr.jp/	セキュリティに関する新たな脅威に対応するため、継続的な技術動向の把握に取り組んでいます。
FIRST https://www.first.org	
日本サイバー犯罪対策センター https://www.jc3.or.jp/	サイバー犯罪の情報収集を行い、適切な対策を取っています。
JPCERT コーディネーションセンター https://www.jpcert.or.jp/	インシデント発生時に、連携して対応します。

ユーザー保護のための取り組み

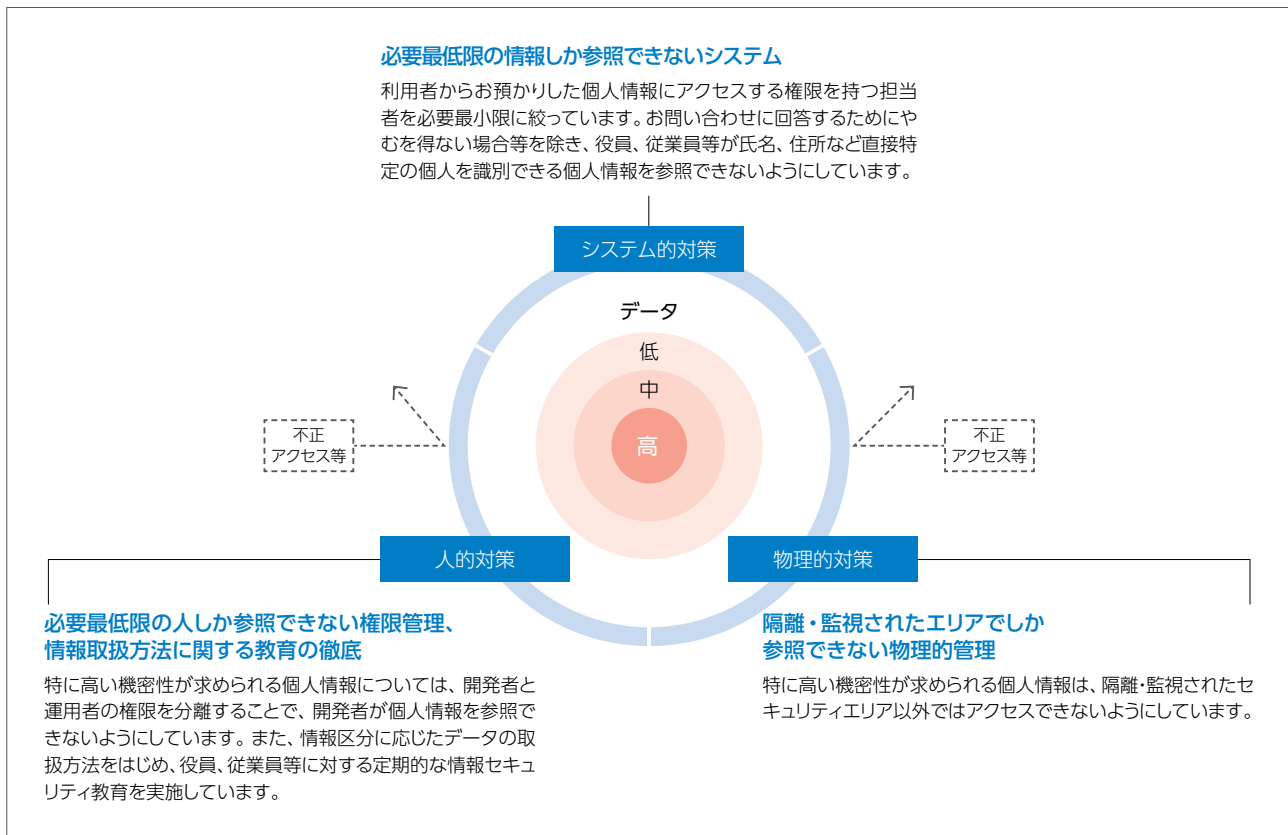
利用者のYahoo! JAPAN ID・パスワードが第三者に知られてしまった場合に備えて、不正ログインを防止する、または被害を軽減するための対策を行っています。また、日本の

インターネット利用者に対して安全なID管理についての啓発を行うとともに、一定の不正利用を想定した事前対策を講じています。

啓発	利用者自身でできるYahoo! JAPAN IDの不正利用防止対策について、情報を提供しています。 Yahoo!セキュリティセンター： https://security.yahoo.co.jp/
ツールの提供	<ul style="list-style-type: none"> ログイン履歴・ログインアラート：Yahoo! JAPAN IDが不正利用された場合に、利用者自身で気づくことができます。 ワンタイムパスワード：Yahoo! JAPAN ID・パスワードが第三者に知られてしまった場合に不正ログインを防止できます。
不正ログイン検知・措置	<ul style="list-style-type: none"> 悪意を持った第三者によるものと思われるログインの分析、遮断、再認証 社内専門部署による検証やモニタリング

データ保護のための取り組み

データの重要度に応じた複数の区分に分類し、それぞれの区分に合わせたデータ保護の対策をとっています。



第三者認証の取得

ISMS (Information Security Management System) 認証の取得

当社および一部子会社は、全事業を対象に第三者機関の審査を受け、ISMS国際規格「ISO/IEC 27001:2013」および日本国内規格「JIS Q 27001:2014」の認証をグループとして取得しています。

グループとして認証に組み込まれている子会社は、当社の情報セキュリティルールに準拠し、同一のマネジメントシ

ステムで情報セキュリティを運用しています。

なお、当社のISMS認証取得の歴史は長く、2004年8月に現在の規格の前身である「BS7799-2:2002」および同規格に基づく国内規格「ISMS認証基準 (Ver.2.0)」を取得しています。それ以降、国際規格の見直しにも対応し、現在も認証を維持し続けています。

PCI DSS認定の取得

2008年11月、当社はインターネット上の決済サービス「Yahoo!ウォレット」について、クレジットカード決済に関する会員情報、取引情報および決済プロセス等に関するセキュリティ基準である「PCI DSS」の「レベル1」要件を満たし、認定を取得しました。「レベル1」は、PCI DSS審査の中でも最も厳しい、取引件数の多い加盟店向けの要件です。これにより、日本最大級のオンライン決済サービスである「Yahoo!ウォレット」が、情報管理および取引プロセス等に関するすべてのシステムにおいて、国際水準の安全性を有することが認

められました。

また、当社はクレジットカードの国際ブランドであるVISAおよびMasterCardから、クレジットカードのカード発行業務（イシューイング）と加盟店管理業務（アクワイアリング）におけるライセンスを取得し、2012年3月より自社におけるほぼすべてのクレジットカード決済において加盟店管理業務を行っています。当業務についても、2012年2月以来、「PCI DSS」認定の取得を継続しています。